

# 令和元年7月における会員の財務状況等

日本商品委託者保護基金

## 1. 会員数の状況

会員数は26社。内訳は受託会員14社、取次会員12社となっている。

## 2. 委託者数等の状況

委託者数は延べ79,176人で前月から133人増加した一方、建玉委託者数は12,991人で前月から35人減少となった。また、役職員数は4,021人で前月から15人減少した。

## 3. 委託建玉及び預り証拠金の状況

委託建玉は566,471枚で前月から6,866枚減少し、預り証拠金は1,218億53百万円となり前月から6億55百万円減少した。なお、委託者に占める建玉委託者は16.4%となり前月から0.1%減少した。

## 4. 純資産額の状況

会員の純資産額は総額3,261億21百万円となり、前月から16億31百万円の減少となった。

## 5. 損益状況

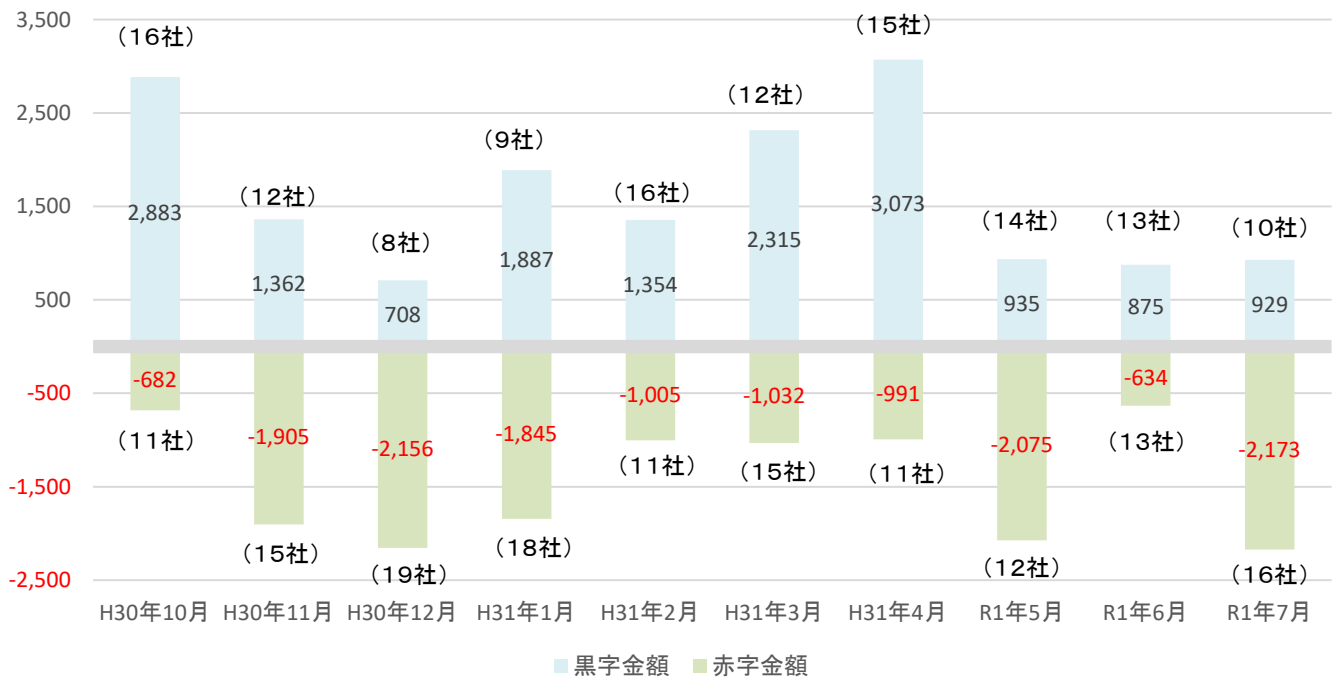
今月の当期純損益について、黒字の会社が10社、赤字の会社が16社となった。金相場が前月に引き続き5,000円の節目に迫る勢いで上昇したものの、その他の受取手数料(主に債券市場)が前月に対して振るわなかった。また、法人税等調整額等を多額に計上したことにより、全体では12億44百万円の赤字となった。この結果、黒字社数は前月の13社から3社減少した。

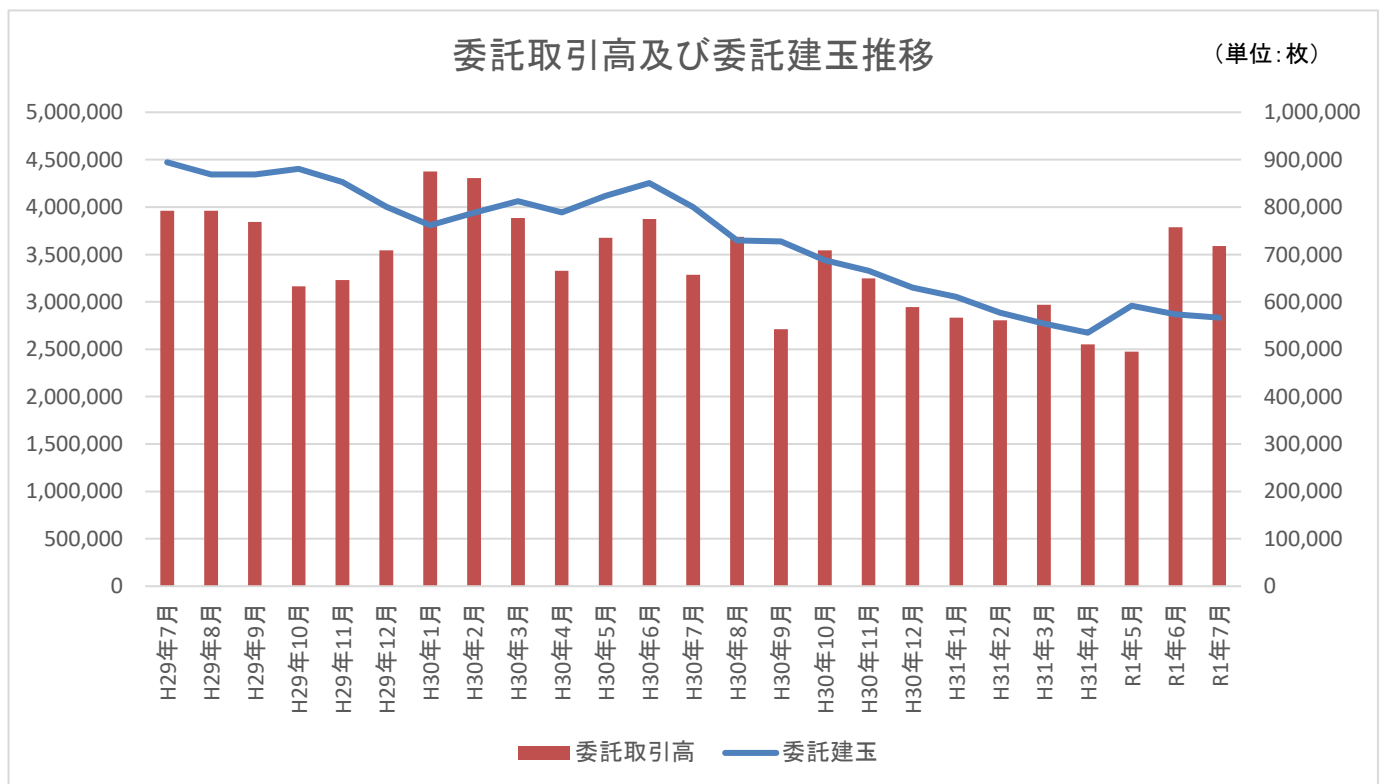
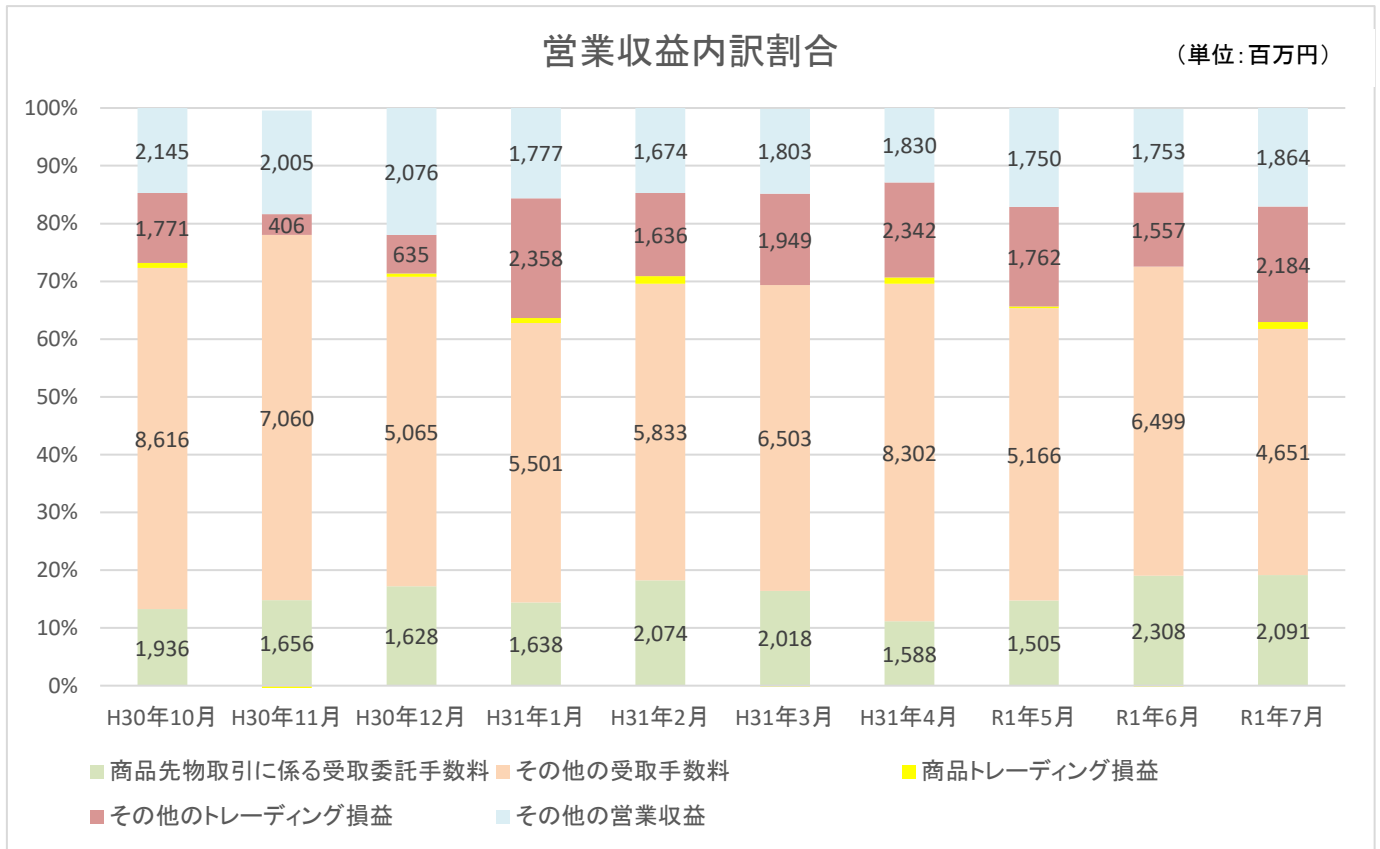
## 6. 取引高の状況

委託取引高は、前月比5.2%減(前年同月比9.1%増)の約358万枚となった。その要因は、白金標準取引(前月比23.2%増の約53万枚)、RSS3号(前月比20.9%増の約23万枚)が増加したものの、金標準取引(前月比11.4%減の約183万枚)及び東京ゴールドスポット100(前月比19.7%減の約27万枚)の減少が大きかったためである。なお、比率としては灯油(前月比73.4%増)、ガソリン中京(前月比142.5%増)及びTSR20(前月比81.1%減)が大きく増減した。

当期純損益推移

(単位:百万円)





以上